

## 第 3 7 期事業報告書

(令和 6 年 3 月 3 1 日)

猛威を振るった新型コロナウイルスも昨年5月から5類に移行することになって移動の制限がなくなりました。

世界情勢不安による原油高と、円安の進行により燃料価格は高騰していますが国の燃料価格激変緩和措置が継続していますので、A重油価格は86円前後で推移しています。

当期における当社の経営状況は、

コロナの影響による利用者の減少は止まりましたが戻りが鈍く、旅客の輸送量は前年比で104%になりました。

自動車輸送量は前年比で100%になりました。

運航収入につきましては60,562千円となり、前期比535千円の減収になりました。

経費につきましては、使用船の検査費用の減少と船員1名の退職等があり海上運送原価は前年比4,704千円の減少となりました。

当期は、100,074千円の助成金を頂いておりましたので当期純利益は5,233千円となりました。

当社はフェリー1隻での運航になっておりますが、本航路は地域の方々にとりまして必要不可欠な生活福祉航路でありますので、安全運航を徹底し、その運営に最大限の努力を傾注いたします。

又、本航路の運営維持を図るためには、関係市町のご支援無くしては不可能であります、何卒格別のご理解を頂きますよう偏にお願い申し上げます。